

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

ももたろうの郷なかよし苑

日付 平成 20年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 在宅介護経験18年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

ももたろう整形外科病院が母体で、創設10年という節目の年を迎えたホームである。その傍にあるももたろうリハビリセンターとの連携も強く、利用者・家族にとって安心感のある手堅い運営を続けてきた事がうかがえる。管理者は、昨年同一法人内部の異動で昨年春に着任した若い男性の社会福祉士で、また清新な雰囲気や漂うホームを作っていると感じさせられた。リビングルームの三方の壁面に利用者の作品や暮らしぶりを掲示する広いスペースを作り、リビングルームの明るさを演出している。利用者の生活の様子が良くわかるようになっていた。当日も根気強く熱心に貼り絵や塗り絵を手がけている利用者がおられ、「あんまり根を詰めると疲れるよ・・・!」と声をかけると、「好きなんじゃから勝手にさしといて・・・!」という返事が返ってくる。こうなると、これは立派な生甲斐となっているというほかない。それがホームの日常的な風景となっているのであろう。昼食のカレー作りの下ごしらえのジャガイモ・人参の皮むき作業の婦人二人の当然の役割のように取り組んでいた。そうした事から、利用者それぞれのその人の持味が発揮されているという印象を強く感じた。

また、昼食前に殆どの利用者がリビングルームで円陣を組み、管理者のリードでリハビリ体操を始めた。参加してのリハビリ体操は、全体体操や指体操に加えてお手玉投げキャッチボールも織り込んで、45分間に及ぶ本格的なものだった。単に動態機能面だけでなく、脳への刺激を意識したリハビリが取り組まれているのも特長の一つで、私達も関心を持って参加した。従来から下肢の衰弱防止をすることにより全員便器を使えるようにすることが基本であると聞いていたが、このようにリハビリが取り組まれているこの法人の姿勢に納得した。

ベテランの人が多いスタッフ達は、利用者一人ひとりの特性をよく把握しており、利用者の生活行動にゆったりと対応している姿勢が自然である。トイレ誘導も早めの声かけをして、周囲に気付かれないよう席をたってゆく様子が印象的であった。

特に改善の余地があると思われる点

利用者の特性を伸ばそうとしているホームの優れた取り組みを、年2回の「ホーム便り」で、家族に配布しているが、2ヶ月毎ぐらいに発行して欲しいものである。それは、家族だけでなく運営推進会議メンバーや町内会・地域包括支援センター・法人内関係施設などにも送り、ホームの理解を深めてもらうと共に高齢者ケアの啓発ツールとしても有効に使えるよう考えてもらいたい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念を具体化して、地域への啓発に使っていかうとしており、地域と密着したサービス提供に役立っていかうとする努力がうかがえる。</p> <p>2、運営理念について…：「人間としての尊厳を大切に、その人らしい生き方の支援」が掲げられており、「要介護状態にある利用者の自立した日常生活の実現」が具体方針として位置付けられている。</p> <p>その具体化が、自分でトイレに行けるような下肢のリハビリ支援や指の運動機能の訓練などが日常的に取り組みられていることを高く評価したい。法人全体の基本的なスタンスであるためか、当然のように職員達は日常の支援してゆく行動の中に定着しているように見られる。このホームの強みを再確認して、「ホーム便り」の中でホームの取り組み方を発信すると、他のグループホームへの参考になるのではないかと考える。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目はない。居室は広いスペースがあり、ベッドと家具類が常備されている。</p> <p>2、全体的に見て…：昨年指摘した、トイレの入り口拡張などのリフォームが行われていた。それによって、利用者の出入りがスムーズになっている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目はない</p> <p>2、全体的に見て…：利用者それぞれの心身の状態に合わせて、好きな切り絵や作画を取り組んだりすることが日常化しているようだ。リビングに掲出されている利用者の作品の出来が素晴らしいものだと感心した。また、利用者の自由な時間の過ごし方は、新聞を読んだり、昼寝をして、それぞれが好きなようにリビングルームで過ごしている。職員はそうした利用者の思いを聞くように心掛けて、できるだけその人の自主性に任せている。健康管理面も、医療法人が母体であるので、健康指数やリハビリを重視したケアをしているので安心である。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善事項はない</p> <p>2、全体的に見て…：母体の整形外科を中心にした医療法人が近隣にあり、リハビリセンターもその併設機関としてあるので、いざというときの相互的な支援体制が可能で、家族としては安心感がある。日常のケアの重点も、リハビリに力を入れ身心機能の水準維持に努力していることがうかがわれる。</p> <p>職員も法人内部の異動はあるが、安定した勤務振りや離職者も少なく利用者との関係が落ち着いていることが嬉しい。</p>		